

教科名	数学	単位数	3単位	担当者	折田 祥之・後藤田 健二 佐々木規仁・齋藤 正浩
科目名	数学A	学年・学級	1年次・全		
使用教科書 副教材等	改訂版 数学A (数研出版) 改訂版 教科書傍用 クリアー 数学I+A (数研出版) 他 改訂版 チャート式 解法と演習 数学I+A (数研出版)				
1 学習の到達目標 (育成すべき資質・能力)					
<p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見だし、数理的に考察する力を養う。</p> <p>(3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>					
2 学習の評価 (評価基準と評価方法)					
観点	a. 知識及び技能	b. 思考力、判断力、表現力等	c. 主体的に学習に取り組む態度		
観 点 の 趣 旨	場合の数と確率、図形の性質および数学と人間の活動において、事象を数学的に考察し、表現し処理する方法を身に付け、よりよく問題を解決する。	場合の数と確率、図形の性質および数学と人間の活動における考え方を身に付け、事象を数学的にとらえ、論理的に考えるとともに思考の過程を振り返り多面的・発展的に考える。	場合の数と確率、図形の性質および数学と人間の活動における考え方や体系に関心を持つとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識し、数学の事象の考察に活用しようとする		
主 た る 評 価 方 法	<ul style="list-style-type: none"> 授業中の観察 定期考査 実力テスト 課題 レポート 	<ul style="list-style-type: none"> 授業中の観察 定期考査 実力テスト 課題 レポート 	<ul style="list-style-type: none"> 授業中の観察 定期考査 実力テスト 課題 レポート 		
占 め る 割 合 に	34%	34%	32%		
3 学習の目標と振り返り					
	≪目 標≫ ～何ができるようになりたいか具体的に～		≪振り返り≫ ～学習の振り返りと今後の課題～		
前 期			【達成できた・一部達成できた・達成できなかった】		
後 期			【達成できた・一部達成できた・達成できなかった】		

4 学習の内容						
学期	学習内容 (単元)	主な評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
		a	b	C		
4	場合の数と確率	◎	◎	○	<p>【知識・技能】</p> <p>① 集合の要素の個数に関する基本的な関係や和の法則、積の法則などの数え上げの原則について理解している。</p> <p>② 具体的な事象を基に順列及び組合せの意味を理解し、順列の総数や組合せの総数を求めることができる。</p> <p>③ 確率の意味や基本的な法則についての理解を深め、それらを用いて事象の確率や期待値を求めることができる。</p> <p>④ 独立な試行の意味を理解し、独立な試行の確率を求めることができる。</p> <p>⑤ 条件付き確率の意味を理解し、簡単な場合について条件付き確率を求めることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>① 事象の構造などに着目し、場合の数を求める方法を多面的に考察することができる。</p> <p>② 確率の性質や法則に着目し、確率を求める方法を多面的に考察することができる。</p> <p>③ 確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断したり、期待値を意思決定に活用したりすることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>① 順列・組み合わせと確率に関心をもち、それらの有用性を認識し事象の考察に活用しようとしている。</p>	課題提出 定期考査 レポート
7	図形の性質	◎	◎	○	<p>【知識・技能】</p> <p>① 三角形に関する基本的な性質について理解している。</p> <p>② 円に関する基本的な性質について理解している。</p> <p>③ 空間図形に関する基本的な性質について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>① 図形の構成要素間の関係や既に学習した図形の性質に着目し、図形の新たな性質を見だし、その性質について論理的に考察したり説明したりすることができる。</p> <p>② コンピュータなどの情報機器を用いて図形を表すなどして、図形の性質や作図について統合的・発展的に考察することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>① 図形の性質に関心をもち、その性質を用いて事象を考察したり表現したり活用しようとしている。</p>	課題提出 定期考査 レポート
10	数学と人間の活動	◎	◎	○	<p>【知識・技能】</p> <p>① 数量や図形に関する概念などと人間の活動との関わりについて理解している。</p> <p>② 数学史的な話題、数理的なゲームやパズルなどを通して、数学と文化との関わりについての理解を深めることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>① 数量や図形に関する概念などを、関心に基づいて発展させ考察することができる。</p> <p>② パズルなどに数学的な要素を見だし、目的に応じて数学を活用して考察することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>① 整数の性質に関心をもち、それらの有用性を認識し考察に活用しようとしている。</p>	課題提出 定期考査 レポート
2	数学A 発展学習 式と証明	◎	◎	○	<p>【知識・技能】</p> <p>① 二項定理に関する基本的な性質について理解している。</p> <p>② 多項式の割り算に関する基本的な性質について理解している。</p> <p>③ 分数式に関する基本的な性質について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>① 2種類以上の文字を含む整式の割り算を、1つの文字に着目することで、1文字の場合と同様に考えることができる。</p> <p>② 割り算で成り立つ等式を理解し、利用することができる。また、分数式の計算の結果を、それ以上約分できない分数式にして表すことができる。</p> <p>③ 二項定理を利用して、展開式やその項の係数を求めることができる。また、整式の割り算ができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>① 整式や方程式、式と証明に関心をもち、それらの有用性を認識し、事象の考察に活用しようとしている。</p> <p>②</p>	課題提出 定期考査 レポート

※数学 I 6月実施予定の集合と命題について、数学 I と重複部分は数学 A で実施します。